

令和2年10月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和2年10月27日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時12分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	小坂正樹	指導課人権教育担当課長	名合淳
文化財課長	草原孝典	事務局(教育企画総務課課長補佐)	井本浩行
事務局(教育企画総務課副主査)	三宅敦子		
5 議題及び結果			
第23号議案	岡山市文化財保護審議会への諮問について		原案可決
6 教育長等の報告 [令和2年9月12日(土)～令和2年10月9日(金)]			
10/3	自然体験リーダー養成講座 step1		地域子育て支援課
10/8	教育長学校訪問		教育企画総務課
片山委員 教育長	<p>○ 山南中学校へ訪問しているが、義務教育学校に移行することもあり、様子を聞かせただけだと思う。</p> <p>○ 山南中学校へは10月8日に伺った。訪問では施設等や靴箱に注目するが、非常によく整っていて、落ち着いた雰囲気であった。子供たちは、よい姿勢で真っすぐ前を見て授業を受けていた。コロナの対応もしっかりできていたように思う。先ほど話があったように義務教育学校に移行するというので、学校全体で校長以下取り組んでいると。非常にダイナミックに動いている。それには校長のリーダーシップが大きいと感じた。</p> <p>学力に対する強い要望はないという学区の雰囲気を教えてくれた。おじいちゃん、おばあちゃんが一緒に住んでいたり近くに住んでいたりする家庭が多いというよ</p>		

<p>片山委員</p> <p>教育長</p> <p>教育長 地域子育て支援課 長</p> <p>教育長 全委員</p>	<p>うなことも言われていた。</p> <p>そうは言いながら、学校は学力向上についても自主学習プリントの配付や、授業の研修もしっかりやっているということである。若手の教員が多いが、校長としてフレンドリーに語るし、声を聞くという、そういうムードづくりが大切だとし取り組んでいるとのことであった。ボランティアの方々がいるのであるが、地域協働学校の取組の中に位置づけていくという話もされていた。学力向上については、休業期間中に授業研究をトップダウンではなく、ボトムアップでやっていると考え、教員が授業を見合ったり、声かけをしたり、お互いに指導し合っており、これはいい雰囲気であるなど思った。</p> <p>義務教育学校に向けては、工事がこれから始まっていくわけであるが、本当にこれから動いていくという活気があったような気がする。学校行事もコロナの影響があったが、ほぼ予定どおりできた。最初は修学旅行も校長としては実施を検討していたが、地域の方や、保護者の方の心配もあって、場所を県内に変えたとのことである。</p> <p>以上である。</p> <p>○ 様子がよく分かって活気があるとのことだが、不登校など、おじいちゃん、おばあちゃんが同居だと、そういうお子さんの困り感についてはどうなのか。</p> <p>○ 不登校そのものは多くないが、コロナ休業の後、不登校傾向、遅刻などは少し増えたと言われていた。</p> <p>○ 自然体験リーダー養成講座のほうも何か説明があれば願います。</p> <p>○ 今年度、自然体験リーダー養成講座 s t e p 1 を 10 月 3 日の土曜日に開催した。場所は、岡山県生涯学習センターで、参加者は 20 人である。20 代から 50 代後半まで、教員を目指す大学生も 6 人含み、子どもたちに伝えたいと意欲的に参加する大学生もたくさんいた。今採用試験を受けているという学生もいた。コロナということもあって、今年は例年の宿泊研修を取りやめ日帰り研修に変更した。場所が近く県の生涯学習センターということもあってか、参加者が去年より倍増して、本当にみんな意欲的に、そして身近な自然に魅力を感じて帰ってもらった。それを受け、すでに開催した s t e p 2、次に開催する s t e p 3 へと繋いで行く。体験された方々がみんな意欲的で、次に子どもを招いたら、ぜひこんなことを伝えたい、自分もやってみたいということで、企画にも積極的な状況で今参加してもらっている。</p> <p>以上である。</p> <p>○ 何かご質問あるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>教育長</p> <p>文化財課長</p>	<p>○ ただいまから 10 月の岡山市教育委員会定例会を開催する。 傍聴はおられない。</p> <p>○ 日程第 1、会期について、本日一日限りとして、よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 本日一日限りとする。 9 月の定例会の議事録について、問題なければ署名をお願いする。</p> <p>○ 本日非公開となるものはないので、議事に入る。 日程第 4、第 23 号議案を文化財課から説明をお願いする。</p> <p>○ お手元の資料の 1 ページから 5 ページをご覧ください。 第 23 号議案の岡山市文化財保護審議会への諮問についてである。 本件は、新たに岡山市指定文化財へ指定するため、岡山市文化財保護条例第 10 条に基づき、教育委員会があらかじめ岡山市文化財保護審議会に諮問を行い、意見を求めようとするものである。今回指定を行おうとする物件は 2 件ある。 1 件目は西大寺の帝釈天曼荼羅である。 本図の制作年代は 16 世紀後半と考えられる。彩色はほとんど補色もなく当初のものと考えられ、保存が極めてよければかりではなく、描線は非常に鋭く抑揚に富</p>

<p>教育長 石井委員</p> <p>文化財課長</p> <p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>み、この種の李朝仏画、朝鮮半島で創られた絵画のことを李朝仏画と申すが、李朝仏画の中でも秀逸の作と評して差し支えない。岡山市の指定文化財にふさわしいものである。</p> <p>2件目は建物絵画付分銅形土製品である。</p> <p>分銅形土製品とは、弥生時代中後期の中部瀬戸内地域の集落遺跡では、比較的出土する頻度の高い遺物である。現在、1,000点に近い出土量が出ている。そのうち、建物絵画を描いたものは、この本例1点のみである。希少性が高い、極めて貴重な考古資料である。岡山市の指定文化財としてふさわしいものと思われる。</p> <p>以上についてご審議のほど、よろしくお願いする。</p> <p>○ 何か質問や意見はないか。</p> <p>○ 岡山県立博物館にあるということなので、もし指定を受けたら、展示会のような企画などは今後考えられるのか。</p> <p>○ 前回絵画を指定させていただいたときは、指定後、県立博物館が指定特別記念として特別に展示を行ったことがある。通常はそのように県と市が相互に手を取り合いながら展示を行うのであるが、残念なことに今年から来年にかけて県立博物館は耐震補強の工事に入る。そのため、工事が終了した後に、1年遅れではあるけれども、指定したことによる展示をさせていただくということになるかと思う。</p> <p>○ よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、第23号議案を原案どおり可決する。</p>
-------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

傍聴の状況		
報 一	道 般	0名 0名